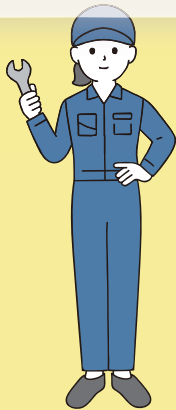



那 須 鳥 山

しごと  
ハンドブック






## 那須烏山市で働く魅力的な社会人からの メッセージをまとめました

この冊子は南那須地区雇用協会「企業の魅力発信事業」で取材した経営者と若手スタッフインタビューのダイジェスト版として那須烏山市が発行しました。

それぞれの会社取材で訪問する度に、よりよい商品・サービスを提供するためのひたむきな姿勢や、そこで働く人の人柄に触れることができ、この魅力を一人でも多くの人に伝えたいと想いながら制作しました。

この冊子を手にとった方が地元で活躍する地元企業の想いに共感し、地元で働くことにわくわくするきっかけとなったら幸いです。





## 会社紹介

株式会社荒川建設	03
株式会社田中電気研究所	05
中村技研株式会社	07
株式会社アヤラ産業	09
日本サンタック株式会社	11
有限会社吉成印刷	13
株式会社悠愛	15
有限会社小澤製作所	17
株式会社ジーク	19
株式会社烏山城カントリークラブ	21



## 先輩社会人のメッセージ

23



# 株式会社荒川建設

代表取締役社長 中山靖之



記事の全文  
はこちら

## 真面目だけどフランク “地域のインフラを守る建設企業”

### 荒川建設の事業概要について教えてください

総合建設業といって、大きくは土木事業と建築事業に分類されます。土木とは道路や堤防といった皆さんの身の回りのインフラ整備。建築は民間の工場や店舗から公共施設まで携わっています。那須烏山市の武道館なども我々が施工したものです。

公共工事の格付けで SA ランクを土木と建築両方で取得しているのは市内では我々だけです。県内で見ても 20 社程度しかないと思います。

最近では、地域経済の中心的な担い手として経済産業省が選ぶ「地域未来牽引企業」に選定されています。

地域のインフラを守るというのが土木・建築業に携わる者の使命ですから、有事の際など迅速に対応できるよう社員一同常に心がけています。

会社の雰囲気については、真面目なところとフランクなところが絶妙にブレンドされた企業ですね。堅苦しく仕事をして結果が出ないより、結果をしっかりと出していけばそのほかの部分はある程度自由にやっという風土が出来上がっています。





那須烏山市武道館

## 活躍するスタッフさんのお話を聞かせてください

役員まで含めると45名の会社です。現場が多いので、うち女性は3名と男性の割合が多いです。年代は40代が比較的多いと思います。

自分の現場が終わると別の現場に自然と応援に入って生き生きと仕事しているのをよく目にします。

きつい仕事のあとでも社長の私に冗談も飛ばすし、そんな社員のスタンスが経営者の立場から見てもとてもありがたいです。やる気さえあれば、性別年齢問わず受け入れています。

現在活躍する社員も、資格などは就職してからとっているケースが多いし、経歴は全く関係ないと思っています。



## 若者へのメッセージをお願いします

とにかく「遊んで来い!」と伝えたいです。社会人になると、時間をかけて徹底的に好きなように時間を過ごすことが出来なくなります。仕事のやり方を覚えるのは会社に入ってからでいいのだから、悔いのないように全力で遊んで来てほしいです。

そうは言いつつ、学校と会社の違いを理解してほしいとも思っています。

社会人になると自分の労働力を提供して対価をもらう立場になりますので、その感覚を実感したい人は是非当社で学んでほしいと伝えたいですね。

# 株式会社田中電気研究所

代表取締役社長 田中敏文



記事の全文  
はこちら

“環境の安全・安心・信頼を測定数値化するものづくり企業”

## 会社の紹介をお願いします

田中電気研究所は、煙突から出る粉塵を測定するダスト濃度計をはじめとする環境関連製品や、災害支援機器等の開発製造を行う会社です。

そのほかにも工業用ガス検知器や半導体の製造のほか、卵のパックを留める超音波溶接機など、工場や皆さんの生活の身近にあるものに関連するものづくりに取り組んでいます。

経営方針については以下の二つを大切にしています。

自分の会社だけ儲かればよいという考え方では長続きしない。仕事は独り占めせずに、他

の企業と助け合いながら進めるようにしています。この考えを「止足の戒め(しそくのいましめ)」といいます。

また、賢い兎は外敵から逃げるための穴を三つ掘るという故事「狡兎三窟(こうとさんくつ)」に倣い、リスク分散を念頭に置いた事業展開に取り組んでいます。わが社の柱の一つは放射線測定器ですが、それに依存せずに複数の分野の仕事を受け持ち、経営上のリスクを最小限に抑えるよう努めています。

## 現場で活躍する従業員について教えてください

地元採用100%で、20代から60代まで約30名が烏山工場働いています。





徐々に若返りするとともに、女性の割合も増えてきています。先輩が指導しながら国家資格取得を目指す様子もよく見受けられます。

勤務時間を利用して勉強してもらい、受験料も会社で負担。合格したら技能手当を付けるようにしており、学び高めあう姿勢を応援するようにしています。

従業員の印象的なエピソードとして、東日本大震災ののちに取引先の工場を視察し、自社製品が

稼働している様子を見学させていただいたことがありました。

自社製品が稼働している現場に案内されたとき、それを見た従業員が「わが子よ」と言って製品に抱き付いたんです。

従業員が自分たちのものづくりに誇りを持ち、製品を愛してくれていることを再認識して非常に嬉しくなりました。



これから就職活動する方へのメッセージをお願いします

何に挑戦していいかわからない方も多いかと思いますが、何気なく過ごす日常生活の中にある物事に興味を持つ習慣をつけることが大切です。

漠然と過ごしている人では見過ごしてしまうようなことでも興味を持つ習慣を10代の頃から持てれば、非常に面白い人生が開けると思いますよ。



# 中村技研株式会社

代表取締役社長 中村彰太郎



記事の全文  
はこちら

## “超精密加工のパイオニア”

### 中村技研の取り組みについて教えてください

自動車部品を中心に、建設機械、トラックのエンジン部品を作る事業を行っています。最大の特徴は小型精密部品に特化した製品作りを行っていることです。

大型部品と違い、様々な方法で世界に輸出することができるという利点も持っています。他社には真似できない高付加価値の超精密部品が私たちの最大の強みと言えるでしょう。

海外では大連とタイにそれぞれ拠点を持つほか、芳賀工業団地にも新たに宇都宮工場が稼働しています。総勢で945名ほどの従業員がおります。76歳で現役で活躍する従業員も

いますが、毎年3名ほどの高卒の従業員を迎えているので、若い従業員も多いですよ。

赤字にならない健全経営。そして従業員が健康であること。この2つを大切にして経営をしています。

### 従業員との関わりで意識していることはありますか？

従業員と現場で話すことを大切にしています。従業員の背中を見れば、元気があるときとそうでないときの違いは分かるものです。

夫婦喧嘩など、仕事以外のことについて従業員の話を聞くこともありますよ。





また、従業員同士で仲が良いことも大切ですが、研鑽し合う環境が重要と考えています。

芋を洗うとお互いをこすり合わせることで磨かれるように、研鑽して高めあうことを、二宮尊徳も“芋こじ”と言って大切にしていたと言われ、わが社でもこの精神を取り入れています。

## 若者へのメッセージをお聞かせください

一番伝えたいのは良く学びよく遊んでほしいということです。その中で良い友人関係を築いてほしいです。

加えて進取究明の精神を大切にしてほしいです。人間あとになってから「もっと学んでおけばよかった。経験しておけばよかった」といったことを感じることの連続です。後悔の無いよう学生生活を過ごしてほしいです。



那須烏山市上境の本社工場



そして中村技研に興味を持ってくれた方には、共に進取究明に励む仲間が沢山いるということも覚えておいていただきたいです。

また、日本のICT教育は世界と比べて遅れているように感じています。

是非パソコンやタブレットといったものにも慣れ親しみ、いろいろなものに触れて視野を広げていただきたいです。





# 株式会社アヤラ産業

代表取締役 中村恵之



記事の全文  
はこちら

開発設計から納品後のメンテナンスまで「那須烏山市のもの作り牽引企業」  
一貫して取り組む

## アヤラ産業の事業内容について詳しく聞かせてください

自動車や医療機器メーカー、家電、民生品など多岐にわたりますが、お客様が製品を作る際の専用機や、品質を保証するための検査機を作ってほしいという要望に対してオーダーメイドで設計から部品加工組み立て、ソフトウェアを入れて作り上げるところまでを一貫して請け負っています。

個性的な取り組みでいうと、那須烏山市内の小学校跡地を活用し、従業員が金銭以外の価値観も満たせるような複合施設作りを行っています。

## アヤラ産業は中村社長から見てどんな会社でしょうか？

従業員全員が前向きな会社ですね。「やるしかない、前身あるのみ!」を合言葉に創業当時から取り組んでいます。困難に自分から飛び込んでいこうという気持ちでやっているし、従業員の前向きな姿勢から代表の私自身が刺激を受けることもあります。

実践のためには、従業員同士の関係もお客様との関係も、想いのベクトルが同じ方向を向いていることが重要であるため、そのベクトルを合わせることを意識して従業員と向き合っています。



## 従業員としてどのような方が活躍されているのかも教えてください

男性20名弱に対し女性が55名ほど働いています。現場は20代から30代が中心に活躍してくれており、彼らが将来の会社を担ってくれると思っています。従業員同士の親睦機会も大切にしています。社員旅行、花見やバーベキュー、忘年会や創立記念行事などが恒例行事です。

自由参加にもかかわらず、ほとんど全員が親睦機会には参加してくれており、周りの経営者からは珍しいと言われます。

従業員を頼もしく感じるし、従業員と冗談を言い合えるフランクな関係が嬉しいですね。

## これから社会に出る方へのメッセージをお願いします

誰も一人で生きているわけではないので、社

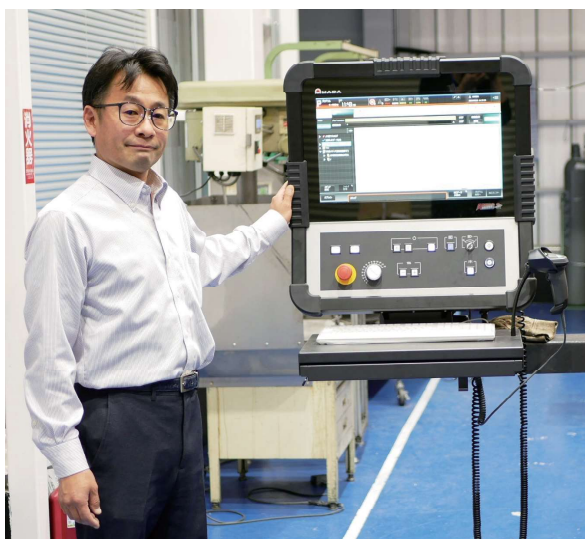


興野のAKVG2工場

会や家族への感謝の気持ちを持ち、思いやりを大切にしてほしいです。

自分の価値観を大切にできる社会はとても良いことですが、社会や組織に対して個が優先されすぎてしまうとバランスが崩れてしまう。職場の中でも周りのことを考えて動ける人材は同僚とも良い関係を作れるし、お客様との関係作りもうまくいっています。

郷土愛や家族愛といったものを意識したうえで日々を過ごしてもらいたいと思います。







# 日本サンタック株式会社

代表取締役社長 栗田岳郎



記事の全文  
はこちら

## 「洗剤・化粧品の製造・販売・運用のプロフェッショナル」

### 企業概要について教えてください

日本サンタック株式会社の業務内容は、業務用洗剤の総合メーカー。

厨房やクリーニング店などプロ用の洗剤、理美容のシャンプー・リンス等の製造・販売を行っています。

「あったらいいな。を実現する」ことを目指しています。

ネット販売が発達して家から出ずに欲しいものをほしただけ買える時代になってきているものの、お客様は80点の商品で妥協してしまっているように感じます。少人数であっても100点の最高の満足を届けるものづくりをしたいと思っています。

### 事業を行うにあたって大切にしていることを教えてください

私たちは洗剤作りと販売・運用のプロとして仕事を頂いていて、我々よりこの分野で秀でた人間はそういません。

そのプライドがあれば中途半端な仕事は出来ません。難しい注文であっても「出来ません」とは言わずお客様の要望に対しても本気で向き合って応えなさいと伝えています。

また、商品の製造は目の前の小さい仕事だったとしても、作られた商品がどのように社会の役に立っているか考えることで成長できるのでその視点は欠かさないようにするよう従業員には指導しています。



## 現場で活躍する従業員について教えてください

宮城工場も含め18名で、現在事務の職員以外には男性が活躍しています。求める人材像については、自分が1番だと思う人。もっとお金がほしい・美味しいご飯食べたいなど欲望を持っている人。そんな山っ気のある人材に来てほしいです。また、今後新たにコスメの事業を展開するので、女性の営業職を求めています。

## これから社会に出る方にメッセージをお願いします

世代間の苦労はあるが、おまえらはおまえらの世代で頑張れ!ってことですかね。

日本は世界を見渡しても安全でとても豊かな国だと思います。

それを作り上げてきたのは先人たち。バトンを受けて自分たちの力で次の次代を創ってほしいです。



大変な時期と良い時期は循環します。コロナ禍で大変な時代を経験しましたが、そういうときこそ力をつけておくことが大切です。

景気が良いときは物を売れる人。景気が悪いときにはその状況を乗り越えられる人。企業はいつの時代も人材を求めています。

私たちの会社に興味を持ったなら気軽に話を聞きに来てほしいです。







# 有限会社吉成印刷

代表取締役 田中美保 / 会長 渡辺大明



## 印刷業の枠に留まらない“まちの雑貨屋さん”

### 吉成印刷の事業の紹介をお願いします

当社は地域に根差した印刷業者として、行政や民間企業の出版や印刷物の制作や、それに伴うデザイン等を行ってきました。印刷業を継続しつつ、ここ数年では企業のノベルティ商品や一般の方向けの木工クラフト商品や和紙にカラー印刷した商品をオンラインショップ「紙と木の店」で取り扱っています。

100年企業に向かってしっかりと売上を作り、従業員に安心して働いてもらえる会社づくりをしていきたいと考えています。そのために印刷の仕事をしっかりと継続しつつ、新しい事業にも取り組むという形で企業を続け

ていきたいと思っています。

### 吉成印刷で活躍する従業員について教えてください

印刷部門の方に3人、パソコンで制作するところに3人で、営業2人、会長と社長の合計10人で、性別や世代的に見てもバランスよく構成されています。

「素直に学び、素直に実行。お客様に必要とされる企業となる」を理念に掲げ、従業員それぞれが担当部署のプロという意識のもとで楽しみながら仕事をしています。





代表として、従業員に対しては、「馴れ合いではない優しさと、責め心ない厳しさ」を持って向き合うよう心掛けています。

### 社会人になる前に身に付けておいてほしいスキルや経験について教えてください

社会経験について、自分でやりたいと思ったことには常にチャレンジする気持ちを持って、実現に向かっていくことがとても重要だと思います。

学生のうちに同世代だけでなく、いろいろな方とコミュニケーションを取っていくことで、いろいろな考え方を吸収でき、自分自身が成長できると思います。

### 最後に田中社長から若者へのメッセージをお願いします

仕事は賃金を得て生活をしていくために必要なものですが、人生の半分以上の時間を仕事に費や



すからには、いかに楽しくやりがいを持って取り組むかが大切になると思います。

自分の就きたい仕事、やってみたい仕事に諦めずにチャレンジをして欲しいと思います。

得意な部分をしっかりと伸ばして働くことで、いろんな方の役に立てると思うので、自分としっかり向き合って仕事を選んでほしいです。